

CELERY



台湾
玄奘大学
応用外国語学科2年
段 兼辰さん

教育学部
児童幼児教育学科3年
柴田 優花さん

台湾
玄奘大学
応用外国語学科4年
吳 品萱さん

流通科学部
流通科学科3年
末次 海さん

特集

中村発! コラボプロジェクト ～産学官連携による実践的な学び～

[旬のひと]

台湾 玄奘大学の研修生と国際交流

[GO!GO!PICKLES]

新サークルができるまで

旬のひと

第15回

台湾 玄奘大学の学生と国際交流 海外でも活躍できるグローバル人材へ

学生の海外派遣や学術の文化交流を目的として、協定を結んだ台湾 玄奘大学から短期研修生15名が来訪。日本文化にふれる「学外ワーク」に参加した。短期研修生と、交流した本学学生にお話を伺いました。



写真左から：教育学部 児童幼児教育学科3年
流通科学部 流通科学科3年
台湾 玄奘大学 応用外国語学科2年
台湾 玄奘大学 応用外国語学科4年

柴田 優花さん(福岡大学附属若葉高等学校出身)
末次 海さん(朝倉東高等学校出身)
段 乗辰さん
呉 品萱さん



榊田神社でおみくじをひく柴田さんと呉さん。サマースクールで知り合ったふたりはもうすっかり仲良し。

本学では国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を目指し、世界各国の大学と協定を締結。昨年2月には32校目として、台湾の玄奘大学と「教育・学術交流協定書」を締結しました。

その交流の一環として、玄奘大学でのサマースクールに本学より2名の学生が参加。教育学部3年の柴田優花さんは「いろいろな経験ができて楽しかったです。帰国してから中国語の勉強も始めました」、流通科学部3年の末次海さんは「大きな刺激を受けた2週間でし

た。自分自身を変えるきっかけになりました」と、それぞれサマースクールで多くのことを学んだようです。

そして昨年11月、今度は玄奘大学から15名の学生が本学に来訪し、短期研修を実施。玄奘大学研修生リーダーの呉さんは「意見を出し合いながら、みんなで一緒に考えるアクティブラーニングの授業が印象的でした」と、感想を語ってくれました。また、滞在中は本学学生と一緒に博多町屋ふるさと館を見学するなど、学外ワークも実施。日本の文化を紹介しながら、学生たちの距離も縮まった様子でした。

こうした協定校での短期研修の他にも長期留学制度や学外の留学支援制度へのサポートにも力を入れています。海外での体験を通じて視野を広げ、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。



好きな形の博多人形を選んで絵付けに挑戦。日本文化にふれながら楽しい時間を過ごしました。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌「セロリ」

CELERY

No.110 | 2019.1.30発行 |



02 [食にまつわるトリビア]

食肉

流通科学部 流通科学科 中川 隆准教授

03 [特集]

中村発! コラボプロジェクト
～産学官連携による実践的な学び～

07 第52回霜月祭レポート

08 [クラブ&サークル]

和太鼓部 輝来響楽座

09 [ナカムラの知の源]

栄養科学部 栄養科学科 安武 健一郎准教授

11 [GO!GO!PICKLES]

新サークルができるまで

13 [卒業生インタビュー]

先輩に会いたい!
国分九州株式会社 吉田 彩香さん

14 | NEWS&TOPICS



健康志向から、赤身の多い国産牛を好む消費者も増加傾向に。

「和牛」とは日本の在来種を交配させた牛、「国産牛」とは多くの場合、オランダ原産の外來種であるホルスタイン（乳用種）の雄を指します。和牛の出荷月齢は約30ヶ月と、ホルスタインの雄の約20ヶ月に比べて育成・肥育される期間が長く、手間とコストをかけて生産されます。近代以降、和牛の改良が重ねられ、肥育農家の努力により、世界に名だたる品質の良い和牛が生まれました。

A.

「和牛」は明治以前から日本で飼われてきた肉専用種で、「国産牛」の多くはホルスタインの雄を指します。

Q.

「和牛」と「国産牛」は違うのですか？



テーマ

食肉

教えてくれたのは



流通科学部 流通科学科

中川 隆 准教授

Profile

2005年九州大学大学院博士（農学）の学位を取得。帯広畜産大学COE研究員、別府大学国際経営学部准教授などを経て、2016年より中村学園大学流通科学部准教授。授業では「食品流通論」「ミクロ経済学」などを担当。食農資源経済学会、日本フードシステム学会、日本流通学会、地域デザイン学会などに所属。2010年より独立行政法人農畜産業振興機構（alic）の専門調査員。

Q.

輸入牛の安全性について教えてください。

A.

牛肉輸出大国のオーストラリアなどでは家畜の段階から品質を管理。国際基準の品質管理が徹底されています。

我が国の牛肉の自給率は約40%で、残りの60%はオーストラリアやアメリカなどからの輸入牛です。これらの輸出先進国は安全加工、品質管理にも力を入れており、国際基準の条件をクリアしたものが日本に輸出されています。オーストラリアでは肉牛の飼育段階から牛のストレスを減らすように配慮した「キャトルケア」と呼ばれる品質管理システムを構築し、普及が進められています。安全な牛肉を供給するために、海外でも品質管理は徹底されています。

Q.

農畜産業の6次産業化とは？

Q.

A.

A.

いわゆる「農家レストラン」のような、生産から販売まで業務を展開することです。

6次産業の「6」とは1×2×3のことで、一次産業に携わる農業者が、二次産業である加工業・製造業、そして三次産業の小売・レストランまで手掛けることを6次産業化といいます。例えば福岡でいうと、今宿にある「堀ちゃん牧場」。牧場の敷地内にレストランがあり、豊かな自然にふれながら博多和牛を味わうこともできます。どんな風に育てられたのかを知り、その場で食べられる農家レストランは食育の一環としてもおすすめです。



「堀ちゃん牧場」では博多和牛の肥育が行われている。



敷地内に併設されたレストランで、美味しい和牛を堪能。

最近牛肉のブランド化が多様に進み、九州では米を飼料にして肥育した熊本県の「えこめ牛」、大分県の「豊後・米仕上牛」などのブランド牛が誕生。飼料用米で家畜を肥育すると、肉脂肪中のオレイン酸の割合が高くなるという研究成果も出ており、健康志向の消費者の注目を集めています。また、米の他にも焼酎粕や酒粕など地域の食品産業で発生する副産物を地域資源として飼料に活用する事例も増加。海外の飼料穀物依存の畜産から転換したブランド牛を育成する気運が高まっています。

ブランド牛に関するトレンドを教えてください。
米を餌にして育てた「えこめ牛」など、さまざまな牛肉のブランド化が進んでいます。



コラボプロジェクト ～産学官連携による実践的な学び～

本学では企業や自治体とのさまざまな連携・協力事業を推進。

産学官連携の場はお互いの大きなメリットにつながっています。

今回は各学科の取り組むプロジェクトの事例をご紹介します。



福岡マラソン
FUKUOKA MARATHON

2018



栄養科学部
フード・マネジメント学科

Project
01



このプロジェクトは第5回「福岡マラソン2018」のオフィシャルフードパートナーとして、フード・マネジメント学科1年生が考案したオリジナル給食を提供して、福岡マラソンを盛り上げようという企画。公募により、ピザとジュレの2つのオリジナルメニューが採用されました。一つは高屋みのりさん考案の「パワピザ」。ピザクック(株式会社イワタダイナース)のサポートで、実際の

店舗で試作を重ねて商品化。もう一つは辻岡紗也華さん考案のジュレ「おひさまチャージ」。糸島産のマーレード状の橙の皮が入ったジュレは山口食品工業株式会社のサポートで商品化されました。11月11日、大会当日は、プロジェクトメンバーの学生42名が沿道でこの2つの給食をランナーに手渡し。各2000食の給食はあつという間になくなるほど、大好評でした。

福岡マラソンで、学生考案の「パワピザ」「おひさまチャージ」を提供!

▲柑橘系のさわやかな味わいとどろろとしたランナーに好評だった「おひさまチャージ」。



コラボ企業コメント

地元企業・大学との産学官連携をきっかけに、福岡マラソンが地域に浸透することを期待しています。



福岡マラソン実行委員会事務局係長 小野 勉さん

福岡マラソンのことをもっと多くの方に知ってもらいたいと思い、昨年開設されたフード・マネジメント学科に、給食のメニュー開発から商品化までを依頼。多くの応募の中から選ばれて商品化されたピザとジュレは大好評で、ランナーからは「おいしかった」と喜びの声をいただきました。大会当日は学生さんたちがボランティアとして給食の提供やランナーの応援にも熱心に取り組んでいただき、大いに盛り上がりました。福岡マラソンを地域の方々により身近に感じていただくことができ、これぞまさに理想的な産学官連携の形だと感じています。

ランナーが取りやすく食べやすい、ひと口サイズにカットして提供されました。



Student Comment

ランナーに配るピザなので、エネルギー効率や栄養バランスを考えてレシピを作成。ピザクックの方には「味にアクセントを加えてみては」などのアドバイスをいただきました。実際に商品化するまでの難しさを知り、とてもよい経験となりました。



栄養科学部 フード・マネジメント学科1年 高屋みのりさん



× 栄養科学部
栄養科学科



栄養科学科の学生たちは来場者に配膳するお手伝い。アレルギー食品を掲示したり、栄養相談をすることもあります。



偶数月の第3土曜日にUR星の原団地で開催されている「星の原やすらぎ食堂」。高齢者や子どもたちの孤食を予防し、地域の交流を深めることを目的に、同団地にお住まいの方がボランティアで食事を準備しています。栄養科学科の学生も、配膳や栄養相談のボランティアとして、この活動に参加しています。

12月のメニューは「温ったか野菜スープ」と「見た目もきれいな、栄養満点のにんじんご飯」。食材はフードバンクや早良区の農家の方から無償で提供されたものを使用。当日は約80名の団地住人が足を運び、挨拶や会話を交わし、交流する機会となりました。

各学科の強みを活かした連携で、高齢者や子育て世代を支援
イベントを通じて団地内の交流や地域の活性化を目指す



× 短期大学部
キャリア開発学科



イノシシやダルマなどのオリジナルはんこが完成！手作りらしい味わいのある作品ばかりです。



キャリア開発学科の酒見ゼミでは荒江団地に住む方々を対象に「消しゴムはんこことフォトで年賀状！大作戦2019」のイベントを開催。昨年同様好評企画に、今年も子どもから高齢者まで多くの参加者が集まりました。

作り方の説明後は下絵を選び、彫刻刀を使ってはんこ作り。学生がサポートしながら和気あいあいとした雰囲気で作業が進みました。最後は消しゴムはんこの作品コンテストが行われ、入賞者には景品を贈呈。参加者からは「若い学生さんと話せて楽しかった」「今度は名前のはんこを作ってみよう」と、喜びの声が寄せられました。

はんこ作りで夢中の子どもたち。上手に削れているかを学生たちが優しく見守ります。



コラボ企業コメント

世代を超えたコミュニケーションで
団地とその周辺地域を盛り上げていきたい。



UR都市機構 九州支社住宅経営部
団地マネージャー
中村 直寿さん

UR都市機構は地域の活性化を目指し、中村学園大学と連携協定を締結。その取り組みとして中村学園周辺の、金山・荒江・星の原・室住の4団地で、各学科と連携プロジェクトを実施しています。健康体操や栄養教室など活動内容はさまざまですが、どのイベントも毎回大好評。学生と高齢者、団地のみなさん同士が楽しく交流している様子に、活動の手伝いを感じています。このプロジェクトはもちろん継続していきたいですし、もっと多くの学生に団地の方と交流してもらえたらうれしいですね。

Student Comment

中村生と地域の方々との交流を深めるためにスタートした「消しゴムはんこ作り」。今年もゼミ生一人ひとりが目的意識を持って取り組むことができました。参加されたみなさん、はんこ作りが上手で、今回の企画も喜んでいただけてよかったです。



キャリア開発学科2年
長尾 美来さん



Project
04

固定概念にとらわれない柔軟な発想で
味噌を使ったユニークなレシピを開発

ニビシ醤油では味噌に含まれる塩分を、通常より70%カットした「黒ごころ超減塩合わせみそ」を開発。健康食品としてだけでなく、今までにない商品展開はできないかと、食物栄養

グラタンや「味噌ロールケーキ」など全8品のレシピが完成。ニビシ醤油のホームページで紹介されています。学生たちのアイデア満載のレシピ開発により、ニビシ醤油ではこ

れから味噌をお菓子業界へ展開することも検討しています。



生クリームに味噌を混ぜると旨味が増し、キャラメル風味の濃厚な味わいに。

Student Comment



食物栄養学科2年
長尾 優花さん

意外性のあるものを作りたくて、私たちのチームでは「味噌生ロールケーキ」を考案。新しい発見があり、レシピの幅も広がりました。

Project
03

大学生のコーヒー消費は拡大できるのか？
「ネスカレッジ・プロジェクト」で実験販売



オリジナルシールの配布やSNSの告知効果で、ネスカレッジ・スタンドに行列が。

フード・マネジメント学科の学生11名がネスレ日本株式会社と協働で「ネスカレッジプロジェクト」を実施。毎週金曜の朝8時から約1時間、ミーティングを行い、「コーヒー」によって眠気を覚まし授業に集中する「コーヒーをきっかけ

に会話をする」という目的で2つのチームに分かれて企画に取り組みました。前期はテストマーケティングとしてコーヒーのサンプリングを実施。その結果を受け、後学期は学内に日時限定で「移动式スタンド」を設置し、コーヒーを有料で販売。オリジナルシールでPRを強化したり、SNSで販売告知を広めたり、販売戦略を練り、1日最大6500円の売上を達成。無料配布から有料販売へ転換したプロモーションは大成功をおさめました。

Student Comment



栄養科学部 フード・マネジメント学科1年
財津 栄穂さん

後学期は3枚綴りでお得なギフトチケットを考案。このプロジェクトでは自分で考えて行動することの大切さを実感しました。



コラボ企業コメント

新たなビジネスモデルの構築が期待できる、素晴らしい成果を上げることができました。



ネスレ日本株式会社
九州支社 第一営業部
川端 彩花さん

社内で「若い人たちにコーヒーを飲んでもらおう」というプロジェクトが立ち上がり、食のスペシャリストを育てるフード・マネジメント学科に協力を依頼。初めは弊社のマーケティングの考え方を学生に理解してもらえるのか不安でしたが、学生たちはやる気いっぱい、期待以上のアイデアを提案してくれました。ネスカレッジ・スタンドでは1時間に40杯のコーヒーを販売するという成果を上げ、工夫次第でビジネスチャンスが生まれることがわかりました。この結果をもとに、当社でも福岡発の全国的なビジネスモデルに発展させていきたいと考えています。



ポスターセッション午前の部で最も多く票を集めた「みのしまBチーム」。



流通科学部1年生の必修科目「キャリアデザインプロジェクト」の授業で、福岡市内の商店街の活性化についてポスターセッションが実施されました。本学は昨年度「福岡市との商店街振興に係る連携に関する協定書」を締結。今回は調査希

Project
05

高齢化や競合店の進出で悩む商店街
学生目線のリサーチで、活性化のヒントに

望のあった11の商店街を、約280名の学生が53チームに分かれて調査、分析を行いました。各チームが担当する商店街を訪問、強み・弱み・機会・脅威の4つの視点で調査し、クロス分析から現状の課題と提案をまとめたポスターを作成。発表当日は商店街や関係機関の方々や審査員として参加。学生の発表に対して「商店街の正確な情報を集めていて参考になった」「もっと消費者目線で踏み込んだ意見が欲しい」など、さまざまな意見をいただきました。

Student Comment



今回の調査では顧客を増やすためにどうすればよいかという点を重視し、一過性ではなく継続してできることは何かを考えました。

流通科学部 流通科学科1年
廣川 奈々さん



コラボ企業コメント

学生が商店街の現状に関心を持つ機会の創出としても意義のあるプロジェクトだと感じています。



福岡市経済観光文化局
地域産業支援課
主査 中牟田 良博さん

商店街が高齢化や担い手不足など、いろいろな問題を抱えている中で、学生のみなさんからアイデアをいただくことで、商店街活性化の一助となればとの狙いからこのプロジェクトが企画されました。学生ならではの面白い提案も多く、特に商店街のキャッチフレーズの付け方がうまいなど感心しました。すぐに何かを動かしていくのは難しいかもしれませんが、若い学生に商店街に関心を持ってもらうよい機会になったと感じています。今回の提案を各商店街にフィードバックして、活性化につながるよう活用できればと思います。



約半年間、試作を繰り返してレシピが作成。料理の味を引き立てるためにはどれくらいの味噌が合うのか量の調整に苦労しました。

学科の三堂教授に相談したことがきっかけで、三堂ゼミでこの味噌を使ったレシピ開発に取り組みことになりました。18名の学生が4チームに分かれて、レシピを考案。最初はサバの味噌煮などの定番メニューしか思い浮かばなかったという学生たちも意見を出し合い、試作を進め、「味噌

コラボ企業コメント

生クリームに味噌を混ぜてデザートに!?学生ならではの発想に驚きの連続でした。



ニビシ醤油株式会社
開発部開発課 係長 熊抱 貴士さん

味噌の塩分を通常より70%も抑えるという、技術的に高い新商品が完成したものの、新しいアイデアが浮かばず悩んでいたところ、学生さんとのレシピ開発プロジェクトを進めることになりました。このプロジェクトでは味噌が洋風の料理や菓子などいろいろな料理に使えることを知って、非常に面白かったですね。特にロールケーキの生クリームに味噌を混ぜるという発想には大変驚かされました。当社は2019年に100周年を迎えます。今までの技術を守りつつ、みなさんのアイデアを参考にしながら新しい分野への事業展開も考えていきたいと思っています。

館内イベント

館内では各サークルがさまざまなイベントを開催。
また、体育館サブフロアには子どもたちとふれあうコーナーも設けられました。

軽音楽部



中村アドベンチャー



たくさんの方がミニコンサートを楽しんでくれました！

アコースティックギター同好会



茶道部



ステージイベント

グラウンドおよび体育館のステージでは毎年恒例のミスキャンパスやダンスコンテストが催され、大いに盛り上がりました。

ダンスコンテスト



吹奏楽部



中村フレンドパーク



ミスキャンパスコンテスト



ミスキャンパスに選ばれて感激です！

ミスキャンパス2018
栄養科学部
栄養科学科4年
荒木 晶子さん



第52回

霜月祭

11/1 [木]・2 [金]・3 [土・祝] 開催

2018年第52回霜月祭のテーマは「華～彩りのcolor～」。
霜月祭に携わる方々が持つ、様々な色(color)が集まることによって「華」が生まれるようにとの願いを込めました。
子どもから大人まで、地域のみなさんもたくさん集い、さまざまなイベントを楽しみました。

模擬店

各サークルやゼミによる模擬店は行列ができるほどの大人気！「食の中村」ならではのおいしさを提供しました。

フード



できたてアツアツのフライドポテト、おいしいですよ～！

薬膳・食育ボランティア部



華道部



書道部



カンボジア教育支援プロジェクト

カンボジアのかわいい雑貨を集めました！

バドミントン同好会



広報パート



展示

書道部や華道部の作品を展示。ずらりと並んだ力作の数々に、普段の活動の成果が表れていました。

和太鼓部 輝来響楽座

部員35名のうち、約半数が1年生!表現力豊かで笑顔いっぱいの『和太鼓部 輝来響楽座』を紹介します。



短期大学・学

迫力のパフォーマンスと
笑顔で、和太鼓の魅力を
届けたい!



霜月祭からどんたくまで
各地のイベントでも大活躍!

身体の内まで響いてくる力強い和太鼓の音と、迫力のパフォーマンス。見事な演奏で霜月祭のオープニングの舞台を飾ったのが「和太鼓部 輝来響楽座」です。

「私たちの和太鼓の特長はアイコンタクトです」と語ってくれたのは、部長を務める教育学部児童幼児教育学科3年生の古郷紘実さん。「オイス」のかけ声で目と目を合わせた瞬間、音と動きがピタリと重なり、舞台に一体感が生まれます。観客を魅了する輝来響楽座の演奏は評判も高く、地域のお祭りをはじめ、「博多どんたく港まつり」や和太鼓フェスティバル「一打一新」など、さまざまなイベントでも引っぱりだこ。また、和太鼓を通して子どもたちと交流する「輝来っ鼓(きらっこ)」という地域活動にも力を入れており、その活動

が福岡市の「青少年アンビシャス運動」として認定されました。

「もっと活動の場を広げて、和太鼓の魅力を伝えていきたい」と語る古郷さん。「間違ってもいいから思いっきり!」をモットーに、息の合った元気いっぱいのパフォーマンスを繰り返す輝来響楽座。今後の活躍にも注目です。



嘉穂劇場で開催された「福岡県ジュニア和太鼓フェスティバル」に、輝来響楽座がゲストとして出演。伝統ある劇場での演奏は貴重な経験となりました。



部員たちのあふれる笑顔から、和太鼓の楽しさが観客にも伝わってきます。



霜月祭で最高のパフォーマンスを披露するため約1カ月間、練習を重ねました。

ナカムラの 知の源

Nakamura Source of knowledge

産学官連携のチームワークで 幼児から学生、高齢者まで 食塩過剰摂取の実態に迫る！

栄養科学部 栄養科学科
安武健一郎 准教授

今や国民の3人に1人が高血圧。
その一因と言われる食塩の研究に取り組み
安武健一郎准教授にお話を伺いました。

先生の研究分野について 教えてください。

大きなテーマ領域としては「食塩」について研究しています。世界的にみても日本人は塩をものすごく多く摂っている民族なんです。食塩の摂りすぎはいろいろな病気にかかわっていることがわかっており、国を挙げての課題解決に私たちも取り組んでいます。

最初は中高年者の食塩をどうやって減らすかというところから考えていたのですが、中高年者だけに注目してはたぶんもう治療が追いつかない。そこで、子どもに注目してみようと考え、幼児の尿を採取、食塩排泄量を解析するという調査を行いました。この調査では幼児保育学科の永渕先

生にご協力いただき、1000名を越える幼稚園児の尿から食塩排泄量をデータ化。季節ごとに3日間、1年間採取する調査で、季節や曜日によって食塩の摂取量に差があることがわかりました。また、日本人は幼児期から既に過剰に食塩を摂取している現状が明らかとなり、この研究が「やすや食と健康研究所」の2014年度助成研究において奨励賞を受賞しました。

食塩についての研究を 始めたきっかけは？

私はもともとと管理栄養士として国立病院に勤務し、患者様の栄養管理やチーム医療に携わっていました。その頃はどちらかというと低栄養や肝臓病の栄養管理などに興味があったのですが、病院

UR都市機構との連携で、団地に住む高齢者にモニター調査を依頼。約30名の協力を得ることができた。



を離れて研究職に就くと、なかなかそういったテーマは実践できなくて。それならもつと身近なことをテーマにして研究を深めたいなと思っていた時に、高血圧専門のドクターに出会うことができ、その方との連携で現在に至っています。

現在、先生が研究で取り組んでいることは？

幼児の尿中食塩排泄量については文科省の日本学術振興会から科学研究費をいただき、現在は福岡と東北の幼稚園児とその母親計700名を対象者として研究を続けています。

その研究と並行して、大学生や中高年者など、さまざまな世代についても調査を進めています。中村学園大学の健康増進センターに

研究って、レンガを積み上げるように調査を繰り返す地道な作業ですがそれを論文として形にまとめることで世の中の役に立っていくのかなと思える瞬間に喜びを感じますね。

はこの20年間の学生50000名分以上の血液や尿、食事のデータが残っており、そのデータから食塩にテーマを絞って解析したところ、1年生の約7割は食塩過剰摂取という結果が出ました。

また、URとのコラボプロジェクトでは団地に住む高齢者の食塩摂取について調査。1ヶ月間、毎朝、尿を採取してもらい、デジタル検査機器で食塩の量が毎日何グラムだったか数値を認識してもらおうグループと、グラム数は測らずに通常の生活をするグループに分かれて

尿中食塩排泄量を計測したところ、食塩の量を毎朝チェックしたグループの方が毎日徐々に食塩摂取が減るという結果を得ました。食べている食塩を「見える化する」とは減塩に有効だということがわかったんです。

研究をする上で

大変だと思うことは？

私は子どもから高齢者まで「人」を対象に研究を行っています。調査の同意を得るにしても、やはり人との信頼構築が重要となってきました。日本ではまだまだ一般の方が研究被験者になるというハードルは高く、研究の入口での難しさを感じますね。



▲幼児への適塩指導では、ゼミ生による食育劇や手作りボードシアターでアプローチした。



▲安武ゼミでは学生が主体となって企画運営する「健康栄養教室」を毎年実施している。

そうした問題点についてはいろいろな方にサポートしていただいでクリアしています。幼児教育の先生方やURなどの企業、また、学生のマンパワーを借りたり。みなさんの支えがあつてこそその研究なので、研究連携メンバーのチームワークはとても大切ですね。

今後の目標について聞かせてください。

まだまだやりたいこと、やらなくてはいけないことがたくさんあるので、同じテーマを持つ仲間を増やして、より大きなチームを組織できたという希望はあります。やはり一人でやれることは限られているので、後進を育てて一緒にやっていたら、研究のスピードもスケールも2倍、3倍になりますしね。それで結果的に、なにかしら人の健康に役立つようなパーツの一つになれば、研究を行っている意義が出てくるのかもしれないと思います。

Profile

安武 健一郎 准教授 Kenichiro Yasutake

中村学園大学家政学部食物栄養学科管理栄養士専攻(現栄養科学部栄養科学科)卒業、平岡栄養士専門学校助手を経て、独立行政法人国立病院機構に管理栄養士として勤務。2008年福岡大学大学院にて博士(薬学)の学位取得、西九州大学講師・准教授を経て、2014年より中村学園大学栄養科学部准教授に就任。

新サークルができるまで

仲間たちと一緒に汗を流したり、教養を深めたり、
学生生活をより豊かなものにするサークル活動。
設立間もない3サークルをご紹介します。

Go!Go! Pickles

なぎなたはメンタルスポーツ。体力や精神力が鍛えられて心身ともに強くなります。



DATA
【活動日】火曜日 18:40~19:40
【活動内容】なぎなたの大会に向けての稽古
【部員数】6人

なぎなたは筋力の弱い女子向けのスポーツ。姿勢もよくなるのでおすすめです!

なぎなた同好会

なぎなた同好会 部長
教育学部
児童幼児教育学科1年
櫻井 佑花さん

Q なぎなたの魅力とは?

A なぎなたには3本勝負で競う「試合」と、二人一組で決められた形や技を行う「演技」の2つがあります。試合は実力に差があっても、気持ちで攻めていけば試合の展開が変わることがあるのでそこが面白い。演技は2人の呼吸や気持ちを合わせて本番で決まった時は達成感があります。

Q 今後の目標は何ですか?

A 部員を増やして、大学の同好会として大会に出場し、いずれは国体で入賞したいです。

Q メッセージをお願いします。

A なぎなたは初心者が伸びるスポーツだと思います。スポーツの経験がなく、なぎなたを触ったことがない人でも大丈夫です。なぎなたに興味をもって一生懸命頑張ってみたという方はぜひ活動を見学しに来てください。

Q なぜ設立しようと思ったのですか?

A 私たちは高校からなぎなたをやっているのですが、マイナースポーツなので、もっと競技人口を増やしたい、活気づかせたいと思いました。それに、中村は大学内になぎなた連盟の先生がいらっしゃったり、強豪校である中村学園女子高等学校の生徒と一緒に練習ができた、なぎなたの環境が揃っているのにサークルがないのはもったいないと思ったことも理由の1つです。

Q 設立した時の苦労は何ですか?

A 同好会を作るには最低5人以上が必要なのに経験者が私たち2人しかなくて、知り合いになぎなたの魅力を伝えるのが大変でした。「あさひなく」という高校のなぎなた部を題材にした作品や私たちの伝えた魅力からなぎなたに興味をもってくれた人が入ってくれた時はうれしかったです。

放送同好会は司会進行から映像制作まで幅広く活動できるのが魅力です!



学内のさまざまなスポットで動画撮影。役割分担しながら一つの作品を作ります。



DATA
【活動日】月曜日・水曜日 16:30~19:30
【活動内容】秋に開催されるNHK全国大学放送コンテストに向けて、映像作品、音声作品を制作することや大学内で行われるイベントの司会進行をすること。
【部員数】15人

放送同好会

放送同好会 部長
栄養科学部
フード・マネジメント学科2年
石澤 麻由子さん



ドキドキの
初インタビュー
です!

私は軽音楽部!
サークル活動は
楽しいよ!

このコーナーを
企画・取材した、
広報アシスタント
「ピクルス」の2人

栄養科学部
フード・マネジメント学科1年
西川 舞さん
(第二高等学校出身)

流通科学部
流通科学科2年
日野 都香沙さん
(朝倉高等学校出身)



Q なぜ設立しようと思ったのですか?

A 高校時代に仲間と競技かるた部を設立した経験を持つ部長が「大学でも百人一首をやりたい!」という熱い思いで仲間呼びかけ、設立しました。

Q 活動していて楽しいこと・辛いことは?

A 百人一首は相手のことを考えながら細かい駆け引きをする競技で、記憶力だけでなく、瞬発力や集中力も必要とされます。試合が終わると体重が減ってしまうほど神経を使いますが、試合の時に相手の陣から札をとれた時や運命戦(残り1枚の勝負)に勝った時はとても楽しいです。

Q 競技かるたの魅力とは?

A ものすごい速さで札を取り合う百人一首は「畳の上の格闘技」と言われるほど激しい競技。知力も体力も駆使して上位入賞を勝ち取ることが魅力です!

Q 今後の目標は?

A 来年中には、部員全員が表彰状をゲット+昇級・昇段!!したいです。部員みんなのレベルを上げて、いつも指導してくれる部長に恩返ししたいです!

Q メッセージをお願いします。

A 興味のある人にはぜひ入部して欲しいです。100枚覚えるのが無理って思う人も多いかもしれないけど、完璧に覚えなくても優勝した人が実際にいます(笑) 競技かるたは礼儀や正しい日本語も覚えられるし、記憶力も高まるから勉強にも生かせると思います!部内もアットホームで雰囲気も和やかで、すごく楽しいですよ!!また、部長以外のメンバーはみんな未経験者なので初心者の方、大歓迎です!!



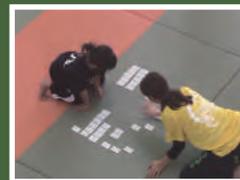
設立から
1年も経たずに
昇級するほど、
みんな頑張ってます!



競技かるた同好会 部長
栄養科学部
フード・マネジメント学科2年
佐藤 貴子さん



DATA
【活動日】毎週月曜日・金曜日
4限終了後より練習開始
【活動内容】大学内で練習をしたり、
不定期で他大学と合同練習をしている
【部員数】10人(マネージャー2人)



合同練習も多く、他大学の人も
仲良くなれます。



初心者から始めたメンバーも表彰
されるまでに成長しています。

「新しいサークルを作りたい!」
と思った方はコチラ

サークル設立までの手続き

- 1 サークル参加本学学部生5名以上を集める。
- 2 本学専任講師以上の教員に顧問就任の承諾を得る。
- 3 執行部に新規団体・サークル設立願により団体規約、活動計画などの必要書類を提出する。
- 4 代議委員会、学友自治会総会の順に承認を得る。
- 5 団体結成願を生活支援課に提出する。
- 6 学長の許可を受ける。

Q 今後の目標は何ですか?

A NHK全国放送コンテストの本選に出場し、入賞したいです。また、一般の映像や音声の大会に作品を応募したり、学外で行われるイベントの司会進行をしたりしたいです。



Q メッセージをお願いします。

A アットホームな雰囲気です。放送関係の活動をしたことがない人でも1から教えるので大丈夫です。新しいことや挑戦してみたいと思う方はぜひ私たちの活動を見に来てください。

Q なぜ設立しようと思ったのですか?

A 最初は演劇部に入ろうと思っていましたが、私たちが入学した時には演劇部がありませんでした。高校時代に放送部に所属していた部長はドラマを撮影した経験があったため、演劇部の活動内容に近い放送同好会の設立を決意。演劇部に入りたかった人たちや、カメラや音響機器に興味がある人たちを集めて同好会を設立しました。

Q 活動していて楽しいこと・辛いことは?

A 楽しいことはみんなで意見を出し合い、計画を立てることです。基本的に強制して何かをやるということはありません。各々がやりたいことに挑戦していく過程が楽しいです。辛かったのは、今年の秋のコンテストに出したラジオドラマの原稿を10回以上書き直したこと。書き直しすぎてどこを直したらいいのかわからなくなるまで直しました。でも、やっている時はとても楽しかったです。また、次の作品では照明、脚本、撮影、出演者とそれぞれ担当を決めて撮影をしようと考えています。

サークル設立!



卒業生インタビュー

先輩に 会いたい

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー！
先輩たちの“今”を
紹介します。

OB・OG
interview
vol.14

学生時代は手嶋ゼミの
プロジェクトリーダーとして
商品開発を手掛けた吉田彩香さん。
現在もメーカーと共同して
商品開発に取り組む吉田さんに
詳しいお話を伺いました。

interviewee

吉田 彩香さん

ayaka yoshida

平成27(2015)年度
流通科学部 流通科学科卒業
勤務先:国分九州株式会社



手嶋ゼミとの出会いが 人生の分岐点でした

高校生の頃から人を喜ばせることが好きで、ホスピタリティ関連の仕事に就きたいと思い、中村の流通科学部に入学。大学で食品業界や流通のことを学ぶうちに「毎日の生活に密接した、食で人を幸せにしたい」と考え、食品に係わる仕事に興味を持つようになりました。

そんな時、手嶋ゼミで菓子メーカーと共同で商品開発をするプロジェクトが立ち上がり、リーダーとして参加。九州北部豪雨の被害を受けた茶農家を応援したい思いから八女茶を使った「八女もちっ茶」を商品化しました。このプロジェクトをはじめ、多くの刺激を与えてくれた手嶋ゼミとの出会いが私の分岐点だったと感じています。



大学4年生の頃の思い出の1枚。「八女もちっ茶」を商品化し、笑顔いっぱいの吉田さん(写真右)。

九州のメーカーの商品を 世界中に届けたい



メーカーとの商談。その商品が得意先に合うかどうかを様々な角度から考え、仕入れを決めます。

「八女もちっ茶」の商品開発の時に
お世話になったのが、現在勤務してい
る国分九州です。就職活動中は国分
九州の他にもいろいろな卸売企業を
受けましたが、プロジェクト活動の時
に感じた、会社の温かな雰囲気
印象的で入社を決めました。
現在はマーケティング部の商品課
で、商品の仕入れや共同開発の仕事
に携わっています。九州のメーカーの
商品を開発する人にも知ってもらい
たくて、もつ鍋や有明海苔など、九州
ならではの食材を使った商品開発に
力を入れています。将来的には商品
開発だけでなく、営業として自ら
売り込むことが目標。自分の手掛けた
小さなメーカーの商品が全国、さら
に世界でも流通できるようになって、
多くの消費者の手にわたるような
環境を作っていきたいです。

楠喜久枝名誉教授ご逝去 「偲ぶ会」が催されました

平成30年11月22日、中村学園大学名誉教授の楠喜久枝先生が永眠されました。享年88歳でした。平成31年1月19日、西鉄グランドホテル(福岡市中央区)において、楠先生門下生一同が発起人となり、「楠喜久枝名誉教授を偲ぶ会」が催されました。630名の方々が来場され、楠先生への感謝とお別れを告げられました。

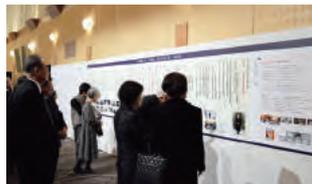
楠先生は昭和4年福岡県に生まれ、九州高等女学校で学園祖中村ハル先生の教えを受け、日本女子大学家政学部を卒業後、昭和26年中村学園女子学院助手に就任、その後中村学園大学・中



生前の楠先生の愛用品や略歴譜が展示されました



中村理事長によるご挨拶



村学園短期大学教授に至るまで、46年間本学園で教鞭をとられました。中村ハル先生の人間教育の教えを受けた直系の愛弟子であり、継承者でした。ハル先生が料理学校を設立した同じ64歳で東京農業大学の研究生となり、柿の葉の研究で博士(農芸化学)を取得されました。

平成10年、本学園への多大なご功績により中村学園大学第1号の名誉教授の称号を授与されました。また平成21年度秋の叙勲において、瑞宝中綬章を受章されました。

「NAKAMURAファーマーズマーケット」初開催

平成30年11月23日、本学7号館前広場にて「NAKAMURAファーマーズマーケット」が開催されました。このイベントは、地域住民と一緒に地元の食を楽しむ目的で、本年度初めて開催されました。出店いただいた地元8団体



のブースでは、新鮮な農産物や加工品などの商品のほか、調理したばかりの惣菜も並び、来場者は食のマーケットを楽しんでいました。



〈参加企業〉

JA福岡市、太田屋醤油店、
堀ちゃん牧場、
ふくおか合鴨水稲会、伊都物語、
イクスクール、糸のスープ工房、
中村学園事業部

第18回インターンシップ・グランプリ開催

短期大学部キャリア開発学科の第18回インターンシップ・グランプリが開催されました。この実習は、本年度で12年目を迎え、平成25年度から必修化されています。キャリア開発学科生全員が在学中にインターンシップに参加する、全国でも類をみない取り組みです。

グランプリ当日は、最終プレゼンに選ばれた10名の学生が約10日間の実習で学んだことや将来の目標、今後の課題などを発表しました。選考の結果、グランプリは、徳留綺香さん(実習先:株式会社エイブル、筑前高等学校出身)、準グランプリは波多江真優さん(実習先:福岡中央銀行、福岡講倫館高等学校出身)が選ばれました。



**食育推進協議会主催「一汁三菜ランチレシピコンテスト」
最優秀賞小林さん考案のメニューがランチに**

平成30年度「一汁三菜ランチレシピコンテスト」の応募者より優秀作品が選ばれました。「食育館で食べたい一汁三菜ランチの『主菜』を考えよう」をテーマに、本学学生から応募を募り、食育推進委員会による審査が行われました。最優秀賞は、栄養科学科1年小林咲季さんの「新食感!!チーズカッターピ風春巻き」が選ばれ、12月17日の「一汁三菜ランチの主菜」として提供されました。大人気のチーズタッカルビをみんなが喜ぶ揚げ物にしたという学生ならではの工夫が見られ、ランチを食べた学生

からも好評でした。優秀賞3名が考案した主菜は、1月の「一汁三菜ランチ」として提供される予定です。



**社会
連携**

**宮崎県との連携に関する
協定を締結**

平成30年11月30日、宮崎県と本学は、宮崎県庁舎にて連携に関する協定を締結しました。この連携協定は、宮崎県と中村学園大学・中村学園大学短期大学部が、文化、教育、健康増進、流通科学、学術等の諸分野で協力し、相互発展に寄与することを目的としたものです。本学としては、福岡県外の自治体との連携協定締結は初めてとなります。これまで宮崎県とは、在学生及び保護者への就職支援活動や宮崎県食材の普及活動等を実施してきましたが、協定締結により、宮崎県内への定着促進や産

業・地域の振興活動の活性化など、二層のシナジー効果創出が期待されます。



**国際
交流**

**「第2回外国人留学生プレゼン大会」が
開催されました**

平成30年12月19日、ラーニングサポートセンター主催で「第2回外国人留学生プレゼン大会」が開催され、平成30年4月に入学した流通科学部1年生の



留学生6名が、日本語でのプレゼンテーションに挑戦しました。各自が日本語や日本文化・社会を学ぶ過程で興味関心をもったテーマを設定し、調べた内容を10分間でプレゼンテーションするものです。4月から週1回行ってきた日本語勉強会の集大成として、留学生たちは緊張しながらも精一杯伝えようと熱意を持って発表しました。「中国の骨董(骨董)陶磁器について」というテーマで発表した殷宇輝さんが最優秀賞に選ばれました。

**国際
交流**

**平成30年度
留学生同窓会開催**

平成30年10月13日、中国遼寧省大連市のホテル・ニッコー大連で留学生同窓会が開催され、本学からは甲斐学長をはじめ3名が参加しました。今年も、上海や瀋陽等遠方からの卒業生を含め計9名が参加し、留学中の思い出や卒業後の活躍話などで大いに盛り上がりました。皆、中村学園の卒業生であることを誇りに思っており、帰国後は起業したり貿易会社や旅行会社に就職し、日本語や留学中に学んだことを活かしながら多分野で活躍しています。来年は留学生同窓会の設置5周年



を記念し、日本在住の卒業生、在学留学生も対象にしたホームカミングデーを開催する予定です。



「コドモテラス」遊んだ後は全員で食事

学生が地域貢献をテーマに企画から運営を行う地域との交流事業「Nプロジェクト」に、平成30年度2件のプロジェクトが採択されました。平成28年度から開始した「Nプロジェクト」は、学生が主体となつて地域住民と交流・イベントを行う企画を募集し、採用された企画に大学が資金援助をする制度です。

9月22日、第1弾として有志学生20名、地域の方9名による「コドモテラス」を鳥飼公民館で開催しました。子供たちに学習支援、遊び場の提供や食事の提供を行い、地域コミュニティを繋ぐ『居場所づくり』を目的として開催されました。

当日は、48名の子ども達が参加し、レクレーションや読書、勉強等様々な形で過ごし、学生が準備した栄養満点のカレーが振舞われました。

平成30年度 Nプロジェクト 学生が企画・運営する地域交流事業

12月22日、第2弾として、幼児保育学科永渕ゼミの2年生26名が、UR室住団地内にある有住公民館でオペレッタ「美女と野獣」を上演し、その後1年生6名も加わりクリスマス会を開催しました。当日は、団地在住の小・中学生約80名が参加し、学生が半年間、衣装や台詞、ダンスを一から考え創りあげたオペレッタ劇を楽しみました。クリスマス会では、ビンゴ等のゲームを行い、プレゼントを配布しました。

来年度以降も「Nプロジェクト」を通じて、学生と地域の方々が交流できるイベントを活発に実施していく予定です。



「オペレッタ:美女と野獣」を上演

平成31年度 入試結果

平成30年11月末現在

※競争率は、受験者数÷合格者数(少数点第3位以下を四捨五入)

●中村学園大学(推薦入学選考)

学部・学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部 栄養科学科	公募	50	101	101	72	1.40
	併設校	20以内	19	19	19	1.00
	指定校	20	18	18	18	1.00
栄養科学部 フード・マネジメント学科	公募	20	38	38	28	1.36
	併設校	10以内	9	9	9	1.00
	指定校	15	34	34	34	1.00
教育学部 児童幼児教育学科	公募	65	121	121	91	1.33
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	25	22	22	22	1.00
流通科学部 流通科学科	公募	20	43	43	34	1.26
	併設校	20以内	18	18	18	1.00
	指定校	70	87	87	87	1.00

●中村学園大学短期大学部(推薦入学選考)

学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公募	20	55	55	35	1.57
	併設校	3以内	3	3	3	1.00
	指定校	35	31	31	31	1.00
キャリア開発学科	公募	10	9	9	9	1.00
	併設校	10以内	6	6	6	1.00
	指定校	90	98	98	98	1.00
幼児保育学科	公募	70	70	70	70	1.00
	併設校	15以内	8	8	8	1.00
	指定校	70	88	88	88	1.00

今後の入学試験のお知らせ(2月 出願受付分)

詳細は本学ホームページにて
(http://www.nakamura-u.ac.jp/admission/)



●中村学園大学

入試種別	学部	学科	募集人員	願書受付期間	試験日	合格発表日
試験入学選考 (後期日程)	栄養科学部	栄養科学科	5	平成31年 2月13日(水)～ 2月25日(月)	平成31年3月4日(月)	平成31年 3月9日(土)
		フード・マネジメント学科	5			
	教育学部	児童幼児教育学科	5			
		流通科学部	流通科学科			
大学入試センター試験 利用入学試験 (後期日程)	栄養科学部	栄養科学科	3	平成31年 2月13日(水)～ 2月27日(水)	・平成31年度大学入試センター 試験の成績を基に判定を行う。 ・本学の個別学力試験は課さない。	
		フード・マネジメント学科	3			
	教育学部	児童幼児教育学科	3			
		流通科学部	流通科学科			

外部資金等の受け入れ状況

研究寄付金

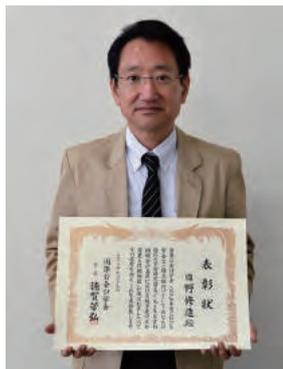
- [研究者] 三成 由美(栄養科学部・教授)
徳井 教孝(薬膳科学研究所・所長)
- [研究課題名] 九州リッチ&ヘルシープロジェクト推進のため(九州食材と不二製油株式会社製品を使用したメニューの開発)
- [寄付者] 不二製油グループ本社株式会社
不二製油株式会社福岡営業所
- [交付予定額] 600,000円

受託研究

- [研究者] 太田 英明
(栄養科学部・特任教授)
- [研究課題名] 有色豆由来アントシアニン及びプロシアニジンの抗癌効果(先端技術を結集した園芸品目の競争力強化事業)
- [委託者] 沖縄県農業研究センター
- [研究期間] 2018年9月18日～2019年3月8日
- [交付予定額] 2,250,000円

国際公会計学会
学会賞受賞

平成30年9月、流通科学部 日野修造教授が国際公会計学会2019年度における学会賞(論文部門)を受賞しました。日野教授の学術研究論文「FASB非営利組織会計基準における純資産の区分変更と情報価値」が評価され表彰されました。国際公会計学会は、公的部門の会計研究では最大の組織で、研究者、自治体関係者、公認会計士等で構成される学会です。



一般社団法人全国栄養士
養成施設協会会長表彰

平成30年11月、吉田弘子准教授(食物栄養学科)が、一般社団法人全国栄養士養成施設協会の会長表彰を受賞しました。長年にわたり、本学において栄養士養成に尽力された功績が認められ、表彰されました。

第73回新匠工芸会
会友賞受賞

平成30年10月、第73回新匠工芸会展において、倉原弘子講師(教育学部)の木工作品「楓拭漆八角重箱」が会友賞を受賞しました。本作品は、



10月に東京都美術館、京都市美術館分館にて展示されました。

第11回
音の夢ピアノコンクール
大学生・一般部門優秀賞受賞

平成30年10月、教育学部 大庭美奈助手が「第11回音の夢ピアノコンクール」大学生・一般部門において、全国大会優秀賞を受賞しました。この受賞により、3月にアクロス福岡シンフォニーホールで行われる受賞記念コンサートに出演します。

平成30年度
九州交響楽団演奏会開催

平成30年12月11日、中村学園女子中学・高等学校講堂にて、九州交響楽団演奏会が開催されました。当日は本学学生だけでなく、近隣住民の方も多数ご来場いただき、プロのオーケストラの迫力ある演奏を楽しみました。「スター・ウォーズ」のテーマ曲や「四季」「運命」などのクラシック曲のほか、アンコールでは「中村学園の歌」「いざゆけ若鷹軍団」などが演奏されました。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部
在学生対象ダブルスクール

募集学科および定員

募集学科	修業年限	入学時期	募集定員	願書受付期間
調理師科 夜間コース	1年6ヶ月 (最長)	2019年4月	40名	2019年1月21日(月)～2月15日(金)
		2019年10月	80名	2019年7月17日(水)～8月7日(水)

選考方法

中村学園大学・中村学園大学短期大学部の在学生については入学試験は免除いたします。

受験料 なし

出願書類提出先 中村学園大学 学生部 生活支援課
(パンフレット・入学願書も設置しています)

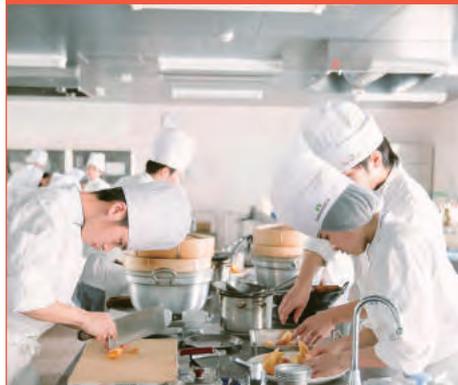
問合せ 092-851-2593

学校見学会 開催!

2月4日(月) 18:30～
2月12日(火) 18:30～
3月1日(金) 18:30～
QRコードより申込フォームにて
お申込みください。



中村調理製菓専門学校
調理師科夜間コース



WEBやSNSにて情報発信中!

公式ホームページ
http://www.nakamura-u.ac.jp/



公式Facebook



公式Twitter



平成31年度小学校教員採用試験 合格状況

平成31年度小学校教員採用試験の結果が発表され、本学教育学部児童幼児教育学科4年生は受験者数107名中、実数71名(延べ74名)が合格しました。現役合格率(※)は66.4%と昨年に続き過去2番目に高い合格率を挙げています。また、本学同学科卒業生も多数合格しています。

※現役合格率＝現役合格者実数÷現役受験者数
※合格者には特別支援学校教諭を含みます。

幼児保育学科 牛島ゼミ 共同募金活動を実施

平成30年12月8日、幼児保育学科の牛島ゼミが天神で「赤い羽根共同募金」の一

環である「地域歳末たすけあい運動」の協力として街頭募金を行いました。この共同募金については1年次前期の社会福祉の科目で地域福祉の推進として保育現場や福祉施設にも配分されていること、また、たすけあいによるセーフティネットの仕組みづくりについて学んでおり、今回フィールドワークを通じて理解を深めました。



当日は、学生が街を歩き交う方へ募金活動の趣旨を分かりやすく呼びかけ、多くの市民の協力を得ることができました。本ゼミ活動を通じて、地域の福祉を推進するための資金を地域で集めるプロセスを体験することができました。

教職員の出版物

著者は、本学教員のみ記載
※肩書き等は発行日現在のもの

『貧困のなかにいる子どものソーシャルワーク』

益田 仁 教育学部 講師 共著
(中央法規出版 2018年9月)



『社会教育における防災教育の展開』

圓入 智仁 教育学部 准教授 共著
(大学教育出版 2018年8月)



『発掘! かついいニッポン 異文化理解から日本文化発信へ』

津田 晶子 食物栄養学科 准教授 共著
(成美堂 2018年12月)



Nakamura Gakuen Letter

学園だより

中村学園大学付属 沓岐幼稚園

主体性のある 子どもの育成に 取り組んでいます

福岡市西区野方に位置する沓岐幼稚園は、草木の緑と広い園庭に恵まれています。この環境で、子どもたちは虫とり、水遊び、お花を使った色水作りなど、季節に応じた遊びに夢中になっています。中村学園大学の学生の実習園でもあり、よりよい保育を提供しようとして、大学教員とともに研鑽しています。最近では、静かに人の話が聞けると同時に、自分の言葉で話せる主体性を



もった子どもに育つよう、「セカンドステップ」というプログラムを取り入れています。沓岐幼稚園には2台のスクールバスがあ



り、北は姪の浜や愛宕浜、東は小田部や原、南は田村や室見が丘、西は西都や今宿という、広い範囲の園児の通園に役立っています。

来年度には、創立40周年を迎えます。それに先立ち、今年度の6月から8月にかけて、幼稚園の外壁と屋根の修理をしていただきました。保育室の扉の補修、2階の窓ガラスのクリーニングなど、園の環境が大幅に改善し、とても明るい雰囲気になりました。近所の方々にも喜んでいただいています。

保護者会である「いきの会」主催の「いきいきカフェ」では、園長と主任が保護者の方々と懇談しています。さらに、園長主催の「いきパバの会」では、園長と園児の父親が、親睦を深めています。それぞれ学期に1回開催して幼稚園の様子をお伝えするとともに、子どもや子育てについての「おしゃべり」をしています。

沓岐幼稚園のホームページでは、毎月、各学年が保育の様子を掲載しています。また、「園長のささやき」というコラムを月に3回を目標に執筆して、幼稚園で見たことや考えたことなどを発信しています。主任もブログで行事の報告をしています。その他にも、積極的に園の情報を開示していきたいと思っております。是非一度、ホームページをご覧ください。

未来の
あなたに
会いに行こう。

OPEN CAMPUS

Spring 2019
3.16 [sat]
10:00~15:00
[9:30受付スタート]



模擬授業

在学生との交流

個別相談

サークル紹介



**SNSで
学園情報発信中!**

@Nakamura_kouhou
中村学園のTwitterを
ぜひフォローしてね!

SNSの利用に関しては、所属高校の
指導に従ってください。

facebookも
あるよ

◎予約不要 ◎入退場自由 ◎保護者大歓迎!



中村学園大学 中村学園大学短期大学部

中村のタネ 高校生にナカムラのことをもっと詳しく知ってもらうための受験生応援サイトです。

YouTube 写真や文字情報ではわからない中村学園を動画でわかりやすく紹介します。

お問い合わせ先

入試広報部 / 〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1
[TEL] 092-851-6762 (直通)
[E-mail] nyushi@nakamura-u.ac.jp
[URL] http://www.nakamura-u.ac.jp/

Access

天神 地下鉄七隈線 天神南駅▶別府駅(9分)
バス 天神▶中村大学前(約20分)
博多 バス 博多▶中村大学前(約30分)

*駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。*保護者の方には毎号送付しています。
[申込先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

